JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH
キッチン・バス工業会

発行日：2016.12.26　広報専門委員会

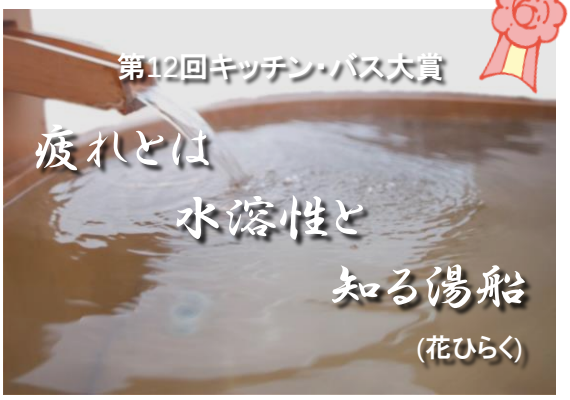
K・B 通信

キッチン・バス工業会と会員の皆さんを繋ぐ

2016.12 No 012

第12号

広めよう
11月2日
は
キッチン・バスの日
！



目　次

FACE　・・・・・・・1
「K・B通信」第12号発行にあたり　・・・・・・・1
第12回 川柳入賞者表彰式典開催　・・・・2～5
平成28-29年度 公式行事　・・・・・・・5
平成28年度全員懇談会開催　・・・・・・・6
新会員入会のお知らせ　・・・・・・・7
代表者変更のお知らせ　・・・・7～9
平成28年度 正副委員長　・・・・・・10
平成28年度 上期自主出荷統計　・・・・・・11
がんばってます　委員会・WG！　・・12～16
TOPICS！　・・17～18
秋野卓生顧問弁護士から　・・・・・・19
事務局からひとこと　・・・・・・19
編集後記　・・・・・・19

Message 「K・B通信」第12号発行にあたり

平素はキッチン・バス工業会活動にご支援頂いており、誠にありがとうございます。

当工業会では家庭文化のありようを家族みんなで考える日として平成17年に11月2日を「キッチン・バスの日」と制定。「キッチン・バスの日」の普及を目的に「台所・お風呂の川柳」事業を展開しております。今年度も例年通り5月に募集させて頂きましたところ、16万句を超える多数の応募があり、川柳愛好家のみならず、小中学生からも沢山の傑作を応募頂きました。応募頂いた川柳には、癒しや団欒を詠ったものや熊本復興への応援川柳など時事を反映した句も多くありました。その中で特に優秀な作品を選考の上、平成28年11月2日に日本工業倶楽部において第12回「台所・お風呂の川柳」表彰式を盛大に開催。受賞者の皆様を讃えると共に受賞の喜びを分かち合いました。なお、優秀作品は作品集に纏めておりますので、是非お目通し頂ければ幸甚です。

さて、間もなく平成29年を迎えます。干支である酉にちなんで、当工業会も皆様と一緒にますます飛躍したいと思っています。引続き一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

キッチン・バス工業会 副会長
TOTO株式会社
取締役 常務執行役員
林 良祐

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

「11/2 キッチン・バスの日」記念 第12回 川柳入賞者表彰式典開催

応募総数は165,725句！前年比108%と、川柳も業界の期待を反映したものとなりました。今回はスマートフォンによるインターネット応募にも対応しました。電力賞が復活し、常連の川柳愛好家をはじめ、初めて詠まれた方まで、家族の心温かさを思い起こさせる良句が例年にも負けず劣らず集まりました。また学校関係では今回5,302句が集まり、川柳を国語教育に取り入れている学校からの応募も年々増えています。

式典は、高木常務理事による開会宣言の後、大道会長から「旬のテーマや家族を題材にした素晴らしい句が多く、選考は大変悩みました。昔と比べ時代は大きく変化し、今や台所やお風呂は、家族の団欒や癒しの場として認知されています」とのご挨拶がありました。続いて中山川柳事業推進委員長による今回の応募句の傾向等が報告され、各賞受賞者への表彰が行われました。受賞者の方には、受賞作から連想する詠み手のイメージとは異なる方もおられ、家族の立場を思いながら詠んだ句だったとのエピソードをご披露されるなど、終始和やかな表彰式となりました。

表彰式後、神宝昭子政策企画調査官（内閣府）、杉浦宏美住宅産業室長（経済産業省）、前田亮企画専門官（国土交通省）からご挨拶をいただき、あらためて川柳事業の重要性を感じました。最後に、受賞者、来賓、プレゼンターの皆様による記念写真の撮影で式典は終了しました。

懇親会に移る前に恒例となっている一席が催され、今回は三遊亭金遊師匠により、思わず笑いを誘う演技・話術に一同楽しませていただきました。

懇親会では、内田高史会長（日本ガス体エネルギー普及促進協議会）によるご挨拶、井上俊之理事長（ベターリビング）による乾杯、選者である三遊亭金遊師匠、山遊亭金太郎師匠、神田松鯉先生による作品評が行われ、受賞者を中心とした歓談が行われました。しばし楽しんだ懇親会は、有吉猛副本部長（関西電力）による中締めにて閉会となりました。

受賞者・選者・プレゼンター・ご来賓の皆様

★ご来賓の皆様から、ご挨拶をいただきました。

内閣府　子ども・子育て本部　政策企画調査官
神宝 昭子 様

内閣府では11月第3日曜日を「家族の日」、その前後各1週間を「家族の週間」と定め、この期間を中心として理解促進を図っています。この式典を通じ、家族を題材にしたユーモアあふれる作品に家族の絆を感じられ、暖かい様子に和まされました。少子化対策ともども、広く普及することを期待しています。

国土交通省　住宅局　住宅生産課　企画専門官
前田 亮 様

優秀な作品ばかりで感動しました。住生活月間では、住まいに関する催しを通じて国民の豊かな住生活の実現の普及・啓発活動を実施しており、この式典は住生活月間のトリを務めるイベントと考えています。住まいの楽しさや良さが伝わる作品が多いので、私の家族にも作品を見せたいと思います。

経済産業省　製造産業局　生活製品課　住宅産業室長
杉浦 宏美 様

リフォーム等の市場の話をすべきところですが、優れた作品に大変感動し、受賞作の題材となった仕草を試してみたい思いで一杯です。今回は熊本地震の復興に関する句が受賞されたこともあり、皆様の決意の目が感じられる場となり、あらためて身が引き締まる思いです。

内閣府　神宝様

経済産業省　杉浦様

国土交通省　前田様

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

★受賞句とコメント

キッチン・バス大賞　鈴木さん（花ひらく）

「疲れとは　水溶性と　知る湯船」

お風呂に入ることによって血行やストレスを良くするだけでなく「水溶性」という言葉を使うことにより疲れが溶けるように無くなることをイメージして作りました。

人間の体も水で出来ていますので、お風呂に入ることは自然とリラックスをもたらし、理にかなっていますね。

準キッチン・バス大賞　工藤さん（でこちゃん）

「長年の　母の辛苦を　知るシンク」

小さい頃に見た、人知れず台所で涙していた母を思い作りました。母も色々と苦労があったのだと判るようになりました。

受賞により改めて母に感謝の言葉を述べたいと思います。

家族の日・家族の週間賞　木村さん（キムッチ）

「頑張れの　代わりに好物　並べとく」

単身赴任が続いているため、最近では家族との触れ合いが一番の楽しみとなっております。その中で思い浮かんだ一句です。

暮らしの安全・省エネ賞　中山さん（チョコバンク）

「炊きだしの　湯気復興の　狼煙にし」

熊本大地震があったので、復興の思いを込めて皆を元気付けたいという思いで作りました。

豊かな住生活賞　松永さん（さごじょう）

「リフォームで　強度を増した　家族仲」

リフォーム関係の仕事をしていることから、日々実感している気持を素直に詠んだものですが、複数点応募した中で、この句が選ばれるとは思ってもいませんでした。

三遊亭金遊賞　清水さん（ハルル）

「湯に浸かり「あ」に濁点の　声が出る」

お風呂は私が最後。一日の疲れ、旦那への愚痴、子供の心配事、あらゆる思いが腹の底から湧き上がってきます。湯船に浸かって思わず出てくるその音は清らかな「あ」ではなく、ちょっとにごった濁点の「あ」。聴覚と視覚を体感したものがそのままこの句となりました。

山遊亭金太郎賞　宇野さん（おね～やん）

「お揃いの　カップのはずが　杓文字たて」

キッチンで母と談笑をしていた時、ふと目に入ったのは両親に贈ったお揃いのカップの片方。それは父のカップで杓文字たてとして使われており、もう片方はと思うと目の前にいる母がそのカップでコーヒーを飲んでいました。その光景がとても面白く、夫婦も割れず（別れず）にずっと一緒にいると違った味わいが出てくるのかなぁと感じられ川柳に表現しました。

神田松鯉賞　小熊さん（陽子）

「端っこが　一番美味しい　つまみ食い」

子供の頃にキッチンで母の手伝いをしていた時のことを思い出しこの川柳を作りました。その時、料理の端っこを少しつまみ食いし、その味がとても美味しく昔を懐かしく感じた気持ちをそのまま表現しました。

学校奨励賞（27校）

代表校　千葉県我孫子市立湖北台西小学校　三好校長先生

本校では指定の用紙を作り「家族の絆」をテーマに4年生～6年生を中心に子供達が思いついた句を詠んできております。教頭先生を窓口とし子供達とコミュニケーションを図りながら「楽しく書く」ということを心掛けてこれからも継続させていきたいと思います。

内田様のご挨拶

井上様による乾杯のご発声

選者と受賞された方々との交流

三遊亭金遊師匠・山遊亭金太郎師匠・神田松鯉先生によるご講評

和やかな雰囲気のなか行われた懇親会風景

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

ベターリビング賞　堀木さん（ホリッキー）

「憩いの湯　子供来たりて　戦場へ」

2歳の娘との日常を句にしたもの。帰ったら娘に見せびらかします。来年は今日が予定日の次の子を題材にして詠みたいと思います。

住宅リフォーム推進協議会賞　河原さん（AKIKAZE）

「築100年　リフォーム施し　もう100年」

田舎暮らし・古民家に興味があり、あれこれリフォーム後の姿を想像しております。長い年月を経た家も手を加える事により、また一味違った形でまだまだ快適に生活できると感じ、句にしました。

日本ガス協会賞　岡本さん（鯖南）

「いい味に　着地をピタリ　決めた朝」

電力賞　坂野さん（丸望渦）

「お腹の子　私の湯船で　運動中」

同僚である女性が妊娠されていて、「最近、赤ちゃんがお腹をよく蹴るのよ」という会話からこの句を思いつきました。赤ちゃんが無事で元気よく育って欲しい気持ちを込めて作りました。

日本LPガス団体協議会賞　長峯さん（りのんぱ）

「ばあちゃんの　スマホ出てきた　冷蔵庫」

数年前に亡くなったおばあちゃんのことを思い出して詠みました。実際は、家族は介護と世話に苦労をしたのですが、川柳にすると笑いに変えることが出来て、いい思い出になります。

日本ガス石油機器工業会賞　皿谷さん（とど　爺ちゃん）

「「沸きました」 可愛く真似る　孫の声」

言葉を覚えはじめた2歳の孫が実家に来た時のことを思い出して作りました。ちょうど、給湯器がこわれて交換した時で新しいリモコンが音声でお知らせをするのを聞いて孫がすぐに真似をしました。

日本バルブ工業会賞　金子さん（ねこちゃん）

「皿洗い　蛇口が遠い　メタボ腹」

職場の先輩との旅行で自炊をした際、見事なメタボ体型の先輩がお腹がつかえて水道の蛇口が遠く感じられた事が強く印象に残っていました。頂いた副賞を今回モデルになった先輩に訳を話し差し上げた方が良いのかどうか迷っています。

日本琺瑯工業会賞　後藤さん（となりのゴトト）

「戸棚には　使わぬナベの　見本市」

亡くなった祖母の家を片付けにいった時の事です。台所の戸棚を開けたら未使用のお鍋がずらりと並んでいました。その様子がナベの見本市に思えたことを素直に句にいたしました。

ステンレス協会賞　高橋さん（休日のシェフ）

「鍋の底　見えて嬉しい　食べ盛り」

私の趣味は休みの日に料理をすることで、ワインを美味しく飲むためにフランス料理を始めました。子供はもう社会人になりますが、昔を思い出し「作った料理をすべて食べてもらえて嬉しいなぁ・・・」という思いを句にしました。

日本建材・住宅設備産業協会賞　江本さん（さびしんぼう）

「短冊に　食洗機と書く　子の思い」

インテリア産業協会賞　森崎さん（むさすけ）

「キャラ弁は　もはや芸術　ママ画伯」

私には、妻と4歳になる子供がおります。妻が子供に作ってあげるお弁当が実に愛情溢れるもので、子供はいつも大喜びで食べています。その気持ちをストレートに表したいと思いこの句を応募いたしました。妻には感謝の気持ちで一杯です。

日本繊維板工業会賞　栗田さん（くりさと）

「つまずかぬ　バリアフリーの　夫婦仲」

妻が掃除しやすいということから我が家はバリアフリーで新築し日々の暮らしの中で思いつきました。5年前にも入選しており、こよなく台所・お風呂の川柳を愛しておりますので末永く続けて欲しいと思っております。

リビングアメニティ協会賞　二星さん（ミミリンの父）

「風呂タイム　我が家のリレーは　五輪級」

我が家の日々の入浴は常に省エネを考えて家族間で途切れないようにしており、それがリレーのようだったことから思いついた句です。4年後の東京オリンピックでは、キッチン・バス大賞をとれるよう目指していきます。

★プレゼンテーターの皆様からいただいた各賞へのコメントを一部ご紹介いたします。

日本LPガス団体協議会賞　吉田専務理事

「ばあちゃんの　スマホ出てきた　冷蔵庫」

受賞句は高齢化とIT化といった現代を上手くキーワードであてはめられていると思いました。私は初めて表彰式に参加させていただいたのですが、式の立派さにも感心しましたので、これまで俳句や川柳に挑戦した事はありませんが応募できるよう今からがんばってみようかなと思っています。

インテリア産業協会賞　加藤専務理事

「キャラ弁は　もはや芸術　ママ画伯」

表彰式はとてもにぎやかで、会場も素敵でした。今回選ばせていただいた句は、キッチン・バスもとても重要ですが、それと同様にインテリア産業協会としては、インテリア・色彩などを感じられる句が良いと思っていたところ、こちらの句が目に飛びこんできましたので選ばせていただきました。

日本バルブ工業会賞　子籠部会長

「皿洗い　蛇口が遠い　メタボ腹」

水栓金具はキッチン・バス・洗面と切っても切り離せないパーツですが、特に今回の受賞作品には「蛇口」と入っているのが懐かしく響いています。受賞作はどれもレベルが高く、私にはなかなか思い付かないひねりも効いていますが、やはり毎日の家庭での何気ない暮らしからヒントを思い付かれるのでしょうね。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

「第12回　台所・お風呂の川柳」の選考を終えて

川柳事業推進委員会　委員長　中山 世一

今年も無事川柳の応募が終り、最終選考会も無事終了し、11月2日に表彰式を行うことができました。

今年は幸いなことに昨年より約12,000句多い165,725句の作品応募がありましたが、これは電力会社の復活に負うところが大きかったと思います。少しづつでも震災からの復興の兆しが見えているようで明るい傾向です。

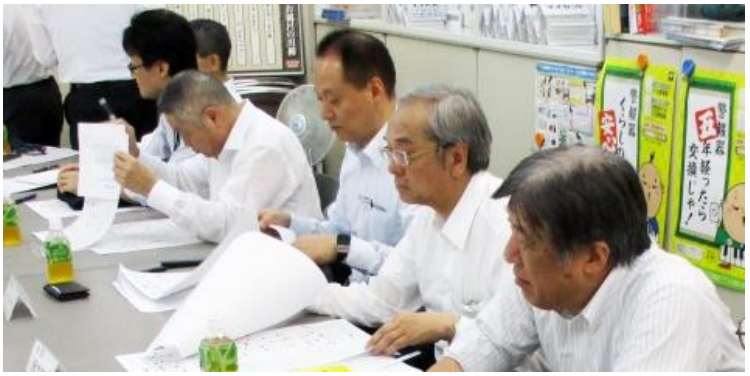
川柳はいつも時代を反映した作品が多いのですが、今年もその傾向がはっきりと見られます。それは次のような事件や事柄であり、川柳作品の言葉でした。

・イギリスのEU離脱(いい湯)
・舛添前都知事の辞職(湯河原温泉)
・熊本地震(くまモン)
・大河ドラマの真田丸(サラダ丸)
・サッカー長友選手の交際宣言(アモーレ)　などなど。

そしてうれしいことに学校からの作品が毎年少しづつ増えてきています。これは日本の将来の台所を担う力であり、当工業会川柳事業も力を注いでいるところです。

今年の応募学校数は27校(昨年より8校増)、応募句数約5,300句(昨年より約200句増加)でした。

最後に、毎年応募してくださるベテランの常連さんもいますが、多くのごく普通の人の作品の受賞が増えていることもいい傾向ではないかと思っております。



選考の様子

平成28-29年度 公式行事

年間、下記の主要行事のほか、関連団体行事、各委員会行事など活発に活動しています。

▼工業会行事	行事内容
・平成28年10月 6日(木)	理事会・全員懇談会(京都 リーガロイヤルホテル)(実施済み)
・平成28年10月 7日(金)	懇親ゴルフ会(京都 城陽カントリー倶楽部)(実施済み)
・平成28年11月 2日(水)	キッチン・バスの日式典 第12回川柳優秀作品表彰式(丸の内 日本工業倶楽部)(実施済み)
・平成29年 1月13日(金)	平成29年 新年賀詞交歓会(浜松町 東京會舘)
・平成29年 4月28日(金)	平成29年度 第1回理事会(浜松町 東京會舘)
・平成29年 6月 1日(木)	平成29年度 定時総会(九段 ホテル グランドパレス)
・平成29年 6月 2日(金)	懇親ゴルフ会(相模原ゴルフクラブ)
・平成29年 9月21日(木)	理事会・全員懇談会(京都 リーガロイヤルホテル)
・平成29年 9月22日(金)	懇親ゴルフ会(京都 城陽カントリー倶楽部)

▼関連団体行事	行事内容
・平成28年 6月13日(月)	ウィズガスCLUBシンポジウム・懇親パーティー(当工業会代表者)(実施済み)
・平成29年 1月29日(日)	第10回ウィズガス全国親子クッキングコンテスト
・平成29年 4月28日(金)	第13回KB&Gコラボ代表者会議(理事)

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

平成28年度 全員懇談会開催

10月6日(木)にリーガロイヤルホテル京都にて平成28年度第2回全員懇談会が、以下の議事に従い開催されました。
今年はキッチン・バス工業会の法律顧問をお願いしている秋野弁護士による、キッチン・バス工業会に関連が深い法律に関する講演会が実施されました。また全員懇談会終了後に、懇親会も開催され、盛況のうちに終了しました。

【議事・特別報告】

① 会員移動について(入会・代表者変更)
② 経済産業省　製造産業局　組織再編の件
③ 規程の制定について
④ 合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律
⑤ 出荷統計概要報告
　・概況報告
　・キッチン統計専門委員会報告
　・洗面統計専門委員会報告
　・浴室統計専門委員会報告
⑥ キッチン、洗面のJIS改正に向けた進捗
⑦ VOC表示ガイドライン利用報告書の改定の件
⑧ 情報発信ツール「技風堂々」へのご協力のお願い
⑨ 住宅ストック循環支援事業について
⑩ 第12回川柳事業について
⑪ 今後の行事日程、その他

【講演会】

タイトル「キッチン・バス工業会に関連が深い　新しい法律の解説」
講師　匠総合法律事務所
　　秋野 卓生　弁護士

第一部　キッチン・バス工業会に関連が深い「新しい法律」
第二部　新規にBtoCビジネスを実践するにあたり押さえておきたいポイント
第三部　2017年の住宅・建築・土木・設計・不動産業界の法的課題

大道会長のご挨拶

秋野弁護士のご講演

全員懇談会風景

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

新会員入会のお知らせ

フリッツ・エガー株式会社
代表取締役
笹岡　潤一朗
（ささおか　じゅんいちろう）

本社所在地　：Weiberndorf　20, St.johann in Tirol, Austria
支　　店　：日本、上海、メルボルン、ニューデリー他23支店
工　　場　：本社に同じ
主な製造品目：家具用両面化粧メラミンパーティクルボード
（キッチン収納、キッチン扉、マンション収納、一般家具）
高圧メラミン化粧板、エッジテープ
（キッチン収納、キッチン扉、マンション収納、一般家具）
ホームページ　：www.egger.com

この度キッチン・バス工業会様に入会させていただきました「フリッツ・エガー株式会社」と申します。今後とも何卒よろしくお願いいたします。
弊社はオーストリアに本社をかまえ、ドイツやトルコなどヨーロッパ全土17工場にてありとあらゆる木製の板材を生産しております。
日本向けにも20年以上前より輸出販売させて頂いており、キッチン業界の皆様はじめ、建築業界にもOSBを長年ご採用頂いております。弊社主力製造品であります低圧メラミンパーティクルボードはキッチン・バス工業会会員のお会社各社にも当時よりご採用頂いており、品質はもとより、ヨーロッパの最新トレンドよりセレクトされた表面デザインも好評頂いております。
また最近は、より付加価値をつけた製品として、表面により深みのあるエンボスの加工が可能な機械を導入し、うづくり木目や、石目調、セラミック調のコレクションもすでに販売を開始させて頂いておりまして、より本物に近い表面材を体感頂けるようになりました。
入会とともに、今後は工業会での情報交換を通じ、品質、デザイン含めより繊細に研ぎ澄まされたキッチン生産のお手伝いをさせて頂ければ幸甚と考えております。
皆様と楽しくキッチンの将来をお話させて頂けましたら幸いです。

代表者変更のお知らせ

公益社団法人インテリア産業協会
JAPAN INTERIOR INDUSTRY ASSOCIATION

公益社団法人インテリア産業協会
専務理事
加藤　久順
（かとう　ひさのぶ）

この度、公益社団法人インテリア産業協会の専務理事に就任いたしました加藤久順でございます。日頃より、会員各社の皆様にはご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
私共の協会は、「インテリアの普及を促進し住生活の向上に寄与する」という、公益法人としての目的を達成するための各種事業を実践し、社会貢献に努めてまいりました。
これからも、会員の皆様方と連携し、微力ながら、工業会の発展と社会貢献に取組んでまいりたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

SEKISUI
積水ホームテクノ株式会社

積水ホームテクノ株式会社
代表取締役社長
福井　一晃
（ふくい　かずあき）

この度、積水ホームテクノ株式会社の代表取締役社長に就任しました福井と申します。
平素は、会員各社の皆様には格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。当社はユニットバスの設計～生産～施工～アフターメンテナンスを軸に「安心・快適な浴空間」の提供をさせていただいております。
さらには、今後の高齢化社会に向け介護分野を充実させ「お客様の豊かな暮らしつくり」に貢献したいと考えております。
今後とも、当工業会の発展に貢献できるよう取り組んでまいりますのでどうかよろしくお願いいたします。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

代表者変更のお知らせ

DNP 大日本印刷

大日本印刷株式会社
常務執行役員
山口　正登
（やまぐち　まさと）

この度、大日本印刷株式会社生活空間事業部担当に就任致しました山口正登でございます。平素は、会員各社様には格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年7月に、長年ご愛顧いただきました事業部名を「住空間マテリアル事業部」より「生活空間事業部」と改め、豊かな生活ができる空間づくりを志し、新たなスタートを切ってまいります。

今後とも工業会の皆様とともに、工業会の発展に取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

ウィズガス 一般社団法人 日本ガス協会

一般社団法人日本ガス協会
専務理事
幡場　松彦
（はたば　まつひこ）

この度、一般社団法人日本ガス協会の専務理事に就任致しました幡場松彦でございます。

弊協会は、一般ガス事業、一般ガス事業者の行う大口ガス事業、ガス導管事業の健全な発展を図るとともに、エネルギーの安定供給と保安の確保および環境問題等への対応を通じて、わが国の経済と国民生活の向上に寄与することを目的とする、都市ガス事業者の団体です。

2005年から、日本ガス体エネルギー普及促進協議会（通称：コラボ）を通じて「KB&Gコラボ」を結成し、様々な施策をこれまで展開し、キッチン・バス工業会様とともに歩んで参りました。両団体がこれからも今まで以上に結束を強め、連携して参りたいと考えております。引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

日本LPガス団体協議会
LPガス 人と地球にスマイルを

日本LPガス団体協議会
専務理事
吉田 栄
（よしだ　さかえ）

日本LPガス団体協議会の専務理事に就任した吉田でございます。

前任の葉梨専務が15年間にわたりキッチン・バス工業会の皆様とご親交を頂きました。この良き関係を基軸にしてガス体エネルギーの一翼を都市ガス業界の皆様方と担いつつ、住生活には欠かせないキッチン・バス業界の発展に寄与すべく頑張っていきたいと思っております。

これからもよろしくお願い致します。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

代表者変更のお知らせ

Housetec
Living with ideas

株式会社ハウステック
代表取締役社長
山口　晃
（やまぐち　あきら）

この度、株式会社ハウステック代表取締役社長に就任しました山口でございます。平素より会員各社様には、大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。
弊社は、『「かしこく住まう」をつくる』を理念とし、キッチンやバスにおける困りごとを解決する商品とサービスを提案することで、お客様の豊かで快適な生活創りに貢献してまいります。
今後とも、微力ながら当工業会の発展に取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

株式会社ベルキッチン

株式会社ベルキッチン
代表取締役社長
高橋　雄二
（たかはし　ゆうじ）

この度、株式会社ベルキッチン代表者に就任しました、高橋雄二でございます。
平素は、会員各社様には格別の御配慮を賜り厚く御礼申し上げます。
ウッドワングループでは、ニュージーランドで森を育て、法正林施業により木を究めるプロフェッショナルとして木のぬくもりをひとりでも多くのお客様にお届けできるように邁進していく所存であります。
今後とも、キッチン・バス工業会のますますの発展に貢献できるよう努力してまいりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

WATANABE
Manufactory Company Limited

株式会社渡辺製作所
代表取締役社長
渡辺　哲造
（わたなべ　てつぞう）

この度、株式会社渡辺製作所の代表取締役社長に就任いたしました渡辺哲造でございます。平素は、工業会会員各社様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社は、板金加工の技術を活かし、主力製品であります家庭用レンジフードを通じて、お客様一人ひとりの満足度向上のお手伝いをさせていただいております。
今後も、きめ細かな対応で多様化するニーズにお応えし、微力ではありますが工業会の発展に貢献できるよう努めて参ります。何卒、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

平成28年度 正副委員長

平成28年10月1日 現在

委　員　会		会　員　名	氏　名
総務委員会	委員長	永大産業㈱	土井 隆義
	副委員長	クリナップ㈱	柴崎 和彦
	副委員長	タカラスタンダード㈱	中島 宏文
	副委員長	TOTO㈱	奥石 英夫
	副委員長	トクラス(株)	伊藤 久人
	副委員長	㈱ハウステック	細入 正樹
	副委員長	㈱LIXIL	藤田 東一
	副委員長	リンナイ㈱	木住野 健
広報専門委員会	委員長	タカラスタンダード㈱	中島 宏文
	副委員長	㈱LIXIL	藤田 東一
	副委員長	積水ホームテクノ㈱	滝川 光紀
室内空気環境特別委員会	委員長	TOTO㈱	吉良　悟
	副委員長	(株)LIXIL	大島 一洋
	副委員長	永大産業㈱	片山 秀明
仮設住宅対策専門委員会	委員長(浴室)	TOTO㈱	奥石 英夫
	副委員長(キッチン)	クリナップ㈱	松本 亮二
川柳事業推進委員会	委員長	OB(ハウステック)	中山 世一
	副委員長	OB(TOTO)	柴山　勲
材工課題専門委員会	委員長	トクラス㈱	伊藤 久人
	副委員長	TOTO㈱	清水 洋一
	副委員長	クリナップ㈱	松本 亮二
営業企画推進委員会	委員長	㈱ハウステック	氏家 和博
	副委員長	㈱LIXIL	園田 静雄
	副委員長	TOTO㈱	猪狩　純
技術委員会	委員長	タカラスタンダード㈱	山抱　裕
	副委員長	トクラス㈱	小林 孝司
キッチン・洗面技術専門委員会	委員長	トクラス㈱	小林 孝司
	副委員長	クリナップ㈱	小林 桂
	副委員長	TOTO㈱	清水 洋一
	副委員長	タカラスタンダード㈱	大原 尚樹
	副委員長	ベルキッチン㈱	畑 光則
浴室技術専門委員会	委員長	タカラスタンダード㈱	山抱　裕
	副委員長	積水ホームテクノ㈱	北川 善詔
	副委員長	㈱長府製作所	松屋 俊男
	副委員長	東プレ㈱	池田 芳清
規格基準検討専門委員会	キッチン委員長	クリナップ㈱	小林　桂
	洗面委員長	TOTO㈱	清水 洋一
	浴室委員長	トクラス㈱	行森 直志
調査統計委員会	委員長	ナスラック㈱	神谷 剛志
	副委員長	㈱ノーリツ	平川　武
	副委員長	㈱ハウステック	細入 正樹
	副委員長	クリナップ㈱	柴崎 和彦
キッチン統計専門委員会	委員長	TOTO㈱	猪狩　純
洗面統計専門委員会	委員長	パナソニック㈱	栗林 羊次
浴室統計専門委員会	委員長	㈱LIXIL	垣田　賢
PL関連委員会	委員長	㈱ハウステック	吉田 末夫
	副委員長	ナスラック㈱	岡部 光朝
	副委員長	クリナップ㈱	中里 敦
	副委員長	タカラスタンダード㈱	中島 宏文
	副委員長	㈱LIXIL	立花 卓寛
情報化推進委員会	委員長	㈱ハウステック	渡邊 理一郎
	副委員長	永大産業㈱	濱田 重人
	副委員長	クリナップ㈱	山本 基善
消費者関連委員会	委員長	㈱LIXIL	藤田 東一
	副委員長	TOTO㈱	前田 浩明
	副委員長	㈱パロマ	塚原 敏夫
	副委員長	ナスラック㈱	神谷 剛志
	副委員長	タカラスタンダード㈱	中島 宏文

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

平成28年度 上期自主出荷統計

調査統計委員会　委員長　神谷 剛志(ナスラック)

平成28年度上期は、各アイテムとも中盤一時的に落ち込みましたが、その後盛り返し累計ではほぼ前年並みとなりました。
出荷動向の先行指標の一つである新設住宅着工戸数は、貸家を中心に比較的堅調な推移を示しており、各アイテムの出荷動向との間のギャップが指摘されています。足元ではシステムキッチンやシステムバスで捉えているリフォーム率が落ち込む傾向にあり、一つの要因としてリフォーム市場の伸び悩みがあるようです。
今後の経済動向については緩やかな回復とする見方が多く、住宅設備業界においても住宅ストック循環支援事業が開始される等今後の動向が期待されるところです。委員会を通じ、引き続き有用な情報の共有に努めてまいります。

新設住宅着工戸数

（戸）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年間計
14年度	75,286	67,791	75,757	72,880	73,771	75,882	441,367	79,171	78,364	76,416	67,713	67,552	69,887	439,103	880,470
15年度	75,617	71,720	88,118	78,263	80,255	77,872	471,845	77,153	79,697	75,452	67,815	72,831	75,744	448,692	920,537
16年度	**82,398**	**78,728**	**85,953**	**85,208**	**82,242**	**85,622**	**500,151**								**500,151**
前年比	**109.0%**	**109.8%**	**97.5%**	**108.9%**	**102.5%**	**110.0%**	**106.0%**								**106.0%**

システムキッチン

（台）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年間計
14年度	107,273	103,013	106,364	113,605	92,557	109,526	632,338	109,144	109,201	108,608	92,853	108,073	114,195	642,074	1,274,412
15年度	97,012	94,485	106,985	115,862	94,016	107,082	615,442	107,220	113,603	112,754	94,635	113,445	116,459	658,116	1,273,558
16年度	**100,525**	**94,171**	**105,609**	**107,025**	**99,515**	**113,788**	**620,633**								**620,633**
前年比	**103.6%**	**99.7%**	**98.7%**	**92.4%**	**105.8%**	**106.3%**	**100.8%**								**100.8%**

セクショナルキッチン

（台）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年間計
14年度	40,768	40,274	38,304	41,626	34,677	40,660	236,309	41,947	39,636	40,999	37,436	45,521	46,005	251,544	487,853
15年度	37,794	35,197	40,162	39,770	34,227	38,156	225,306	42,256	39,481	39,965	36,604	44,412	45,061	247,779	473,085
16年度	**36,098**	**36,432**	**37,150**	**38,009**	**35,500**	**38,667**	**221,856**								**221,856**
前年比	**95.5%**	**103.5%**	**92.5%**	**95.6%**	**103.7%**	**101.3%**	**98.5%**								**98.5%**

洗面化粧台

（台）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年間計
14年度	153,439	135,712	141,386	151,447	125,233	148,873	856,090	154,502	150,118	153,763	138,167	155,010	161,081	912,641	1,768,731
15年度	140,021	132,560	150,944	161,488	129,181	149,330	863,524	155,658	156,502	158,135	141,657	162,656	166,010	940,618	1,804,142
16年度	**142,499**	**132,796**	**150,394**	**149,223**	**136,875**	**157,108**	**868,895**								**868,895**
前年比	**101.8%**	**100.2%**	**99.6%**	**92.4%**	**106.0%**	**105.2%**	**100.6%**								**100.6%**

システムバス

（台）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年間計
14年度	114,604	110,976	116,326	121,510	101,612	116,479	681,507	128,386	121,749	119,088	110,126	111,347	109,038	699,734	1,381,241
15年度	111,077	105,697	123,398	128,319	105,304	114,196	687,991	132,894	128,869	123,022	110,822	121,846	118,097	735,550	1,423,541
16年度	**113,648**	**106,265**	**126,570**	**125,301**	**111,790**	**122,392**	**705,966**								**705,966**
前年比	**102.3%**	**100.5%**	**102.6%**	**97.6%**	**106.2%**	**107.2%**	**102.6%**								**102.6%**

単体浴槽

（台）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年間計
14年度	15,720	14,205	15,056	15,093	12,029	14,577	86,680	16,763	14,938	14,340	13,716	13,866	14,585	88,208	174,888
15年度	13,992	12,319	13,663	13,859	11,884	12,968	78,685	14,693	14,291	13,636	12,000	13,661	14,077	82,358	161,043
16年度	**12,878**	**11,948**	**13,057**	**11,972**	**10,640**	**12,224**	**72,719**								**72,719**
前年比	**92.0%**	**97.0%**	**95.6%**	**86.4%**	**89.5%**	**94.3%**	**92.4%**								**92.4%**

注. 年間計の前年比は9月までの前年累計(上期計)に対する比率です

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

がんばってます 委員会・WG！

委員長会

会長報告会開催

総務委員会　委員長　土井 隆義（永大産業）

9月20日（火）、キッチン・バス工業会の会長に就任された大道会長への会長報告会が、大阪にて開催されました。事務局および各委員長により、平成28年度上期の委員会別活動計画進捗報告と、平成28年度第2回全員懇談会の特別報告事項について事前報告が行われました。

報告会では、会長のお言葉から、K・B通信を発信することの重要性をあらためて確認することができました。それに関連するかたちで、来年1月13日（金）に行われます賀詞交歓会の内容を情報発信するため、来年1月にK・B通信新春特別号を発刊することが決定いたしました。

当日は台風16号が近畿地方に最接近したこともあり、開催が危ぶまれましたが、無事執り行われ、終了時には台風一過、出席者の表情も晴れやかなものとなりました。委員会活動についても各種課題解決に向けて邁進する意気込みを再認識することができました。

永大産業 梅田ショールームにて

会長報告会の様子

委員会 技術

株式会社 水生活製作所様を見学させていただきました。

浴室技術専門委員会　委員長　山抱　裕（タカラスタンダード）

11月11日（金）、浴室技術専門委員会の移動委員会にて岐阜県山県市に位置する株式会社水生活製作所様の美山工場を見学させていただきました。

岐阜県の山々に囲まれた自然豊かな場所にある工場は、青銅合金を主な材料とする砂型鋳造工程・鋳造品の切削加工に始まり、部品の研磨・メッキ処理工程、部品の組立、最終の品質検査と、水栓ができるまでの一連の流れを拝見する事ができました。また、近年増設したというプラスチック部品の成型工場も併せて、拝見させていただきました。

砂型鋳造工程において溶解した青銅合金を金型に流し込む作業現場は、機械化と熟練作業者の共同作業で生産されており、水栓製造ならではの現場として皆非常に興味深く観察していました。また、プラスチック成型工場では、土足厳禁の職場となっており、金型保管部屋については常時除湿した環境に設定されているなど、品質管理体制の徹底ぶりにも驚かされました。

工場見学を終えた後、参加メンバー全員に感想を聞いたところ、工場内のキレイさと従業員の応対の良さに驚いたという意見が多く、自社に持ち帰って取り入れたいという委員もいました。

今回の工場見学を通じて、今までとは違う新しい刺激を受けました。同じ水廻り空間の設備機器を提供する業界として、今後も互いに切磋琢磨しながらエンドユーザーに喜ばれる商品を提供できるように取組んでいきたいと改めて思いました。

最後に、早川社長をはじめ役員の方々自ら工場を案内いただき、本当にありがとうございました。

早川社長

おしゃれで、機能的な水栓

参加メンバー

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

がんばってます 委員会・WG！

委員会情報

「天城ホームステッド」にて、日本IBMセミナー

情報化推進委員会　委員長　渡邊 理一郎(ハウステック)

11月6日・7日、今年で5回目となる日本IBM社・天城ホームステッド(静岡県伊東市)にて情報化推進移動委員会および最新IT技術勉強会の同時開催を総務委員長、他委員会委員長にもご参加いただき、活発な意見交換も行われ盛況のうちに終了しました。

■1日目「ウェアラブル端末による倉庫業務の効率化」
講演：株式会社シーネット様

バーコードリーダーは片腕に装着。ピッキングなど紙の指示書はヘッドセットから流れる音声指示に。物品の数量入力はヘッドセットマイクへの音声入力となり、倉庫の作業者は完全なハンズ・フリーとなった。指示票や端末を持っていた両手は物品の取出しにあてられ、目線は紙の指示票から開放されて物品確認に専念でき、発声入力は耳で確認しているため、業務ロスの改善と人的ミス削減の両方に大きな効果実現の事例説明でした。これまで目と手入力のみの入力をウェアラブル端末は、目、耳、声、手、など五感を多用・専念できることが様々な効果を生むことに、参加者は感嘆にも似た納得感を得た貴重な講演でした。

受講中の様子

■2日目「IBM人工知能Watsonの実用化の状況」
講演：日本IBM株式会社様

IBM社の人工知能Watsonは、現在も進化を続け医療、法律、ビジネス、コンピュータサイエンス、エンジニアリングなど様々な分野へ実用化が進んでいます。例えば、特殊な難症例患者の病名を10分ほどで見抜き「AIが患者を救った国内初の事例」（東京医科学研究所）など。

特にWatsonは、世界の言語を認識し、自然会話の情報を受け付け、意味を分析し、求められた答えを回答します。2013年からは、一般デベロッパーにもサービスを開放し、世界の各政府、大学、研究機関、企業などで研究・実用化が進んでいるとのことから、当業界での活用も近い将来検討する時期がすぐそこに、と感じました。

IBM人工知能Watsonに関するセミナーの様子

セミナー参加メンバー

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

がんばってます 委員会・WG！

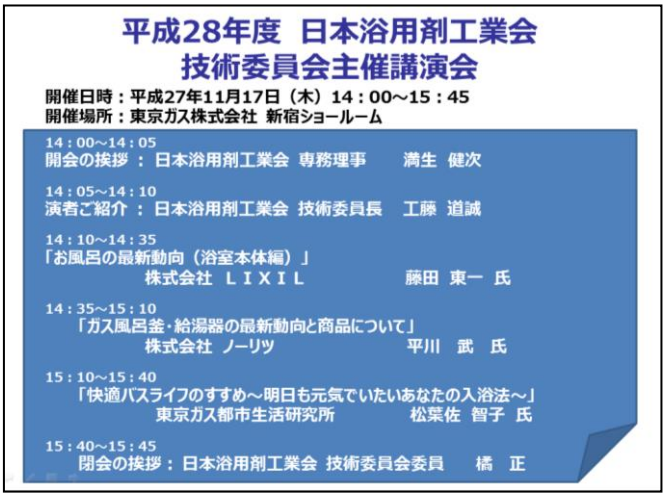
委員会 消費者

平成28年度 日本浴用剤工業会 技術委員会主催の講演会にて講演

消費者関連委員会　委員長　藤田 東一(LIXIL)

平成25年より消費者視点で情報交換をしている日本浴用剤工業会様から浴室及び給湯器に関する講演依頼を受け、「お風呂の最新動向」と「ガス風呂釜・給湯器の最新動向と商品について」と題した講演をさせていただきました。また、会場をお借りした東京ガス様からも都市生活研究所からの特別講演として「快適バスライフのすすめ」と題した入浴法について講演いただいたほか、講演会の後では新宿ショールームの見学もさせていただきました。(講演会概要は右記に記載の通り)

当日は日本浴用剤工業会様70余名、当工業会からも消費者関連委員会メンバーの他、総務委員長と技術委員長も含めた19名が参加、質疑応答や見学会等での交流を通じて大変有意義な講演会となりました。


平成28年度　日本浴用剤工業会
技術委員会主催講演会

開催日時：平成27年11月17日（木）14：00～15：45
開催場所：東京ガス株式会社 新宿ショールーム

14：00～14：05
開会の挨拶 ： 日本浴用剤工業会 専務理事　　満生 健次

14：05～14：10
演者ご紹介 ： 日本浴用剤工業会 技術委員長　工藤 道誠

14：10～14：35
「お風呂の最新動向（浴室本体編）」
株式会社 ＬＩＸＩＬ　　藤田 東一 氏

14：35～15：10
「ガス風呂釜・給湯器の最新動向と商品について」
株式会社 ノーリツ　　平川 武 氏

15：10～15：40
「快適バスライフのすすめ～明日も元気でいたいあなたの入浴法～」
東京ガス都市生活研究所　　松葉佐 智子 氏

15：40～15：45
閉会の挨拶：日本浴用剤工業会 技術委員会委員　　橘 正

当日の講演会次第

講演①
お風呂の最新動向 浴室本体編
1．社会環境の変化（省エネ・省資源）
2．基本機能の充実と進化
（1）全自動給湯器の進化 ※講演②で
（2）高断熱浴槽の登場
（3）シャワー浴の普及と水栓の節湯化
（4）ユニバーサルデザインの普及
（5）湿気の解消と浴室換気乾燥暖房機
（6）清掃性・安全性への配慮
3．浴び心地、入浴感の追求
4．浴室ユニット・浴槽の概要
5．自主出荷統計
6．製品特長の事例（各社の代表的な機能）
平成28年11月17日
キッチン・バス工業会

講演②
ガスふろがま・給湯器の最新動向と商品について
1．ふろがまについて
2．主な給湯機器の種類
3．ガス給湯機器の分類
4．ガス給湯機器の市場動向
5．ガス給湯機器の種類と設置形態
6．エコジョーズ（潜熱回収型高効率給湯器）
7．給湯器の能力・性能
8．おふろ沸かしの種類と方法
9．ふろ給湯器で使用している主な部品・材料
10．ガス温水機器の性能試験
11．ガス温水機器のトップランナー制度
12．ガス温水機器の認証
13．ガス温水機器に関連する法規
14．環境保全への取り組み
平成28年11月17日
キッチン・バス工業会

当日の講演会内容

当日の会場の様子、前列2名は当工業会講演者の2人

委員会 材工

石坂産業株式会社様の工場見学を実施しました

材工課題専門委員会　委員長　伊藤 久人(トクラス)

材工課題専門委員会では今年のテーマとして、産業廃棄物の適正処理を掲げています。平成22年の産業廃棄物処理法の改正で、建設工事現場から出される廃棄物は元請業者に収集・運搬・処分の義務が一元化されましたが、今日でも小規模リフォーム工事現場などでは下請業者の設置店などがやむを得ず梱包材や残材等を持ち帰り処分するケースが散見されています。当委員会では如何にして適正処理を推進していくかを議論する中で、埼玉県三芳町で建設系産業廃棄物のリサイクルに取り組むとともに近隣の環境保全活動が高く評価され、数々の表彰を受け注目を集めている石坂産業株式会社様に伺い、中間処理業の現場から見た産廃処理適正化のヒントを探ることにしました。

ふじみ野駅からタクシーで15分ほどの緑地帯に立地する工場は、かつて所沢市でダイオキシン騒動が起きたことをきっかけに、焼却からリサイクルへビジネスモデルを転換し、完全に建屋内で作業処理をして埃等を室外に出さない全天候型のリサイクルプラントに改修されており、その構内で木くず、金属くず、プラスチック等が機械や手作業で細かく選別されるラインを見学しました。ごみを資源として仕分することで、再生チップや燃料、砂などにリサイクル・販売され、廃棄物の減量化・リサイクル率95%を達成しているそうです。

循環型社会の重要性が問われている今日、キッチン・バスも住宅部品としての消費期限を終えた後、適切に処理され資源として再利用される環境を整えていくことの重要性と、そのコストをどう確保していくのか、製造メーカーとして視野の広い企業努力が求められていることを改めて認識させられた一日となりました。

工場見学の様子

くぬぎの森環境塾　参加メンバー

重機による作業の様子

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

がんばってます 委員会・WG！

委員会 技術

木質ボードのシンポジウムに参加して

キッチン・洗面技術専門委員会　委員長　小林　孝司(トクラス)

10月27日(木)に、日本木材加工技術協会木質ボード部会主催・日本繊維板工業会共催による「木質ボードの最新の動向と今後の展開」をテーマにしたシンポジウムが開催されました。このシンポジウムに日本繊維板工業会様から当工業会に木質ボードを使用する立場からお話をいただきたいとのオファーを受け、出席しました。

今年で第25回目を迎えるシンポジウムとのことで、木質ボードに関連する団体、企業、研究者など、約140名の方が参加された中、盛況に催され、講演には大学の先生を始め、名立たる先生方が登壇され、木質ボードと環境問題をテーマにした講演や当工業会としても関心の高い、クリーンウッド法についての講演など、10名の方が登壇され、興味深く拝聴させていただきました。

私からは「キッチン空間から考える木質ボードへの期待」というテーマで、①キッチン・バス工業会の生い立ち、主な活動、②最新キッチンの一例の紹介、③キッチンを取り巻く環境とニーズ、④木質ボードへの期待、というコンテンツの中で、キッチンの主要構成材が木質ボードであること、キッチンが居住空間、インテリア空間へ移り変わる中で、より表面平滑性の高いボード、淡色のボード、さらなる低VOC、軽量化が求められることと、その背景をお話させていただきました。その後、パネルディスカッション形式で木質ボード部会の皆様との意見交換を行ないました。

当工業会とも関わり合いの深い木質ボード部会の方々と意見交換し、木質ボードの今後を一緒になって考え、交流できたことは、当工業会、木質ボード部会にとっても良い機会になり、今後、連携を取りながら良い製品づくりを目指すために有意義なシンポジウムになりました。

写真左が小林委員長

パネルディスカッション

委員会 総務

平成28年度 家族の日フォーラムに参加して

総務委員会　副委員長　藤田 東一(LIXIL)

11月20日(日)、紅葉も進む「みえこどもの城(三重県松阪市)」にて、「台所・お風呂の川柳」事業に後援いただいている内閣府主催による、平成28年度「家族の日」フォーラムが開催されました。当日は穏やかな気候の中、会場施設には子供連れのご家族が多数見受けられ、内閣府のブースに置かれた子育て関連情報を興味深く見られていました。

当工業会も今年度の第12回「台所・お風呂の川柳」優秀作品集を次年度募集案内チラシとともに内閣府ブースに置かせていただきました。

フォーラムでは加藤内閣府特命担当大臣(少子化対策、男女共同参画)から、「少子化・人口減少は我が国の構造的課題であり、社会・経済への影響も大きい。真正面から取り組み一億総活躍社会の実現に向けた環境作りを進める」とのメッセージがありました。当工業会としても各社製品や川柳事業を通じて、キッチン・バスを中心とした家庭文化の大切さを生活者の皆様に届け、社会・経済に貢献していきたいと考えます。

川柳の優秀作品集を置かせていただいた内閣府ブース

平成28年度 家族の日フォーラムチラシより

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

がんばってます 委員会・WG！

委員会 総務調統

大阪での移動委員会を実施しました

総務委員会 委員長　土井　隆義（永大産業）

12月16日・17日、大阪にて総務委員会・調査統計委員会の合同の移動委員会を実施いたしました。TOTO様、クリナップ様、パナソニック様のショールーム、及び大阪ガス様の実験集合住宅「NEXT21」を皆様ご協力のもと見学させていただきました。

■TOTO様

大阪ショールーム見学

TOTO様、DAIKEN様、YKK AP様のコラボレーションショールームとして2010年にオープンし、当工業会と関わりのある水まわりだけでなく、トイレや内装建材、窓、玄関ドアなど、非常に多くの商品が展示紹介されていました。「きれい除菌水」など、TOTO様ならではの商品に参加者一同非常に関心を持って見学させていただきました。

TOTO様　大阪ショールーム見学

■クリナップ様

クリナップ・キッチンタウン・大阪（大阪ショールーム）見学

「自分らしく生活を楽しむひとのキッチンに出会える　新しいショールーム」として、「キッチンタウン」という名称で、お客様にわかり易い説明を考えられているショールームでした。特に「キッチン・ラボ」というコーナーでは、ステンレスワークトップの「美コートワークトップ」にて汚れを落とす体験をさせていただき、簡単に落とせたことに参加者の驚きを隠せませんでした。

クリナップ様
クリナップ・キッチンタウン・大阪（大阪ショールーム）見学

■パナソニック様

パナソニックセンター大阪見学

「もっと、人生を、新しく。」をテーマに、リフォーム空間提案として、リニューアルオープンされて間もないRe-Life Floorを中心に見学させていただきました。民泊リフォームやアトリエ空間、最高級のオーディオ機器を取り揃えたオーディオルームなど、生活シーンを非常にイメージできる体験をさせていただきました。また同センターでは、最新の生活家電やデジタルAV商品、美容家電が展示されており、非常に興味を持って見学させていただきました。

パナソニック様　パナソニックセンター大阪見学

■大阪ガス様　NEXT21研修会

2013年に当工業会より浴室技術専門委員会が見学研修会を開催していましたが、今回は総務委員会と調査統計委員会ということもあり、初めて見学する参加者がほとんどとなりました。

大阪ガス実験集合住宅「NEXT21」は、近未来の都市型集合住宅のあり方について、環境・エネルギー・暮らしの面から実証・提案することを目的に1993年に建設。時代に一歩先んじた居住環境・設備の体験を通じ、これからの集合住宅を考え、検証していく場として、大阪ガスの社員とその家族が実際に居住されていました。

現在第4フェーズ実験として、人・自然・エネルギー、そして住まいの関係性を改めて見つめ直し、「人と人のつながりの創出」、「人と自然の関係性の再構築」、「省エネ・スマートな暮らしの実現」を具現化する居住実験に取り組まれていました。2020年頃までの都市型集合住宅を前提として、「環境にやさしい心豊かな暮らし」の追求をコンセプトとし、その説明を受けながら見学をさせていただきました。

居住実験では、断熱性能の確保による室内の温熱環境の調整だけでなく、中間領域を設けることで、人と人とのつながりの創出を提案されていました。これからの少子高齢社会に対して、実験を通じ様々な提案を行う大阪ガス様の考え方に非常に感銘を受けました。

また屋上での「自然と共生する生活」の説明では、野鳥が飛来するとの説明中に本当に野鳥が飛来！し、非常に説得力がありました。

この移動委員会に参加した委員は皆、キッチン・バスを通じて更なる豊かな暮らしを提供すべく取り組もうと、決意を新たにしたと思います。

また機会があれば、是非見学させていただきたいと思います。

大阪ガス様　NEXT21研修会

大阪ガス様　NEXT21研修会

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

TOPICS !

いろいろな話題をお届けいたします。

「住生活月間中央イベント/スーパーハウジングフェアin兵庫」に参加して

広報専門委員会　委員長　中島 宏文（タカラスタンダード）

10月15日（土）、キッチン・バス工業会が協賛している第28回「住生活月間（後援：国土交通省ほか）」「住生活月間中央イベント/スーパーハウジングフェアin兵庫」に参加し、「住生活月間・住生活月間中央イベント合同記念式典」にも広報専門委員と事務局を中心に計11名で出席しました。

出展団体がブース展示をした神戸ハーバーランドセンタービルでは、高円宮妃殿下のご臨席のもとテープカットセレモニーが行われ、引き続き妃殿下は、当工業会が構成メンバーであるウィズガスCLUBのブースで、熱心にご説明をお聴きになっておられました。

そのブースでは、例年同様に今回も、日本ガス協会様のご厚意で「第12回川柳入賞作品」を展示させていただき、来場された方々には、大変好評でした。

その後、ホテルクラウンパレス神戸での記念式典にも高円宮妃殿下はご臨席され、主催者である那珂住生活月間実行委員会会長、和田住生活月間中央イベント実行委員会委員長や、来賓のご挨拶、高円宮妃殿下のお言葉、住生活月間功労者表彰、住まいのリフォームコンクール表彰などが行われました。

高円宮妃殿下のご臨席のもと行われたテープカットセレモニー

ウィズガスCLUBブースには「第12回川柳入賞作品」も展示

東京ガス　TG－NEXPO　2016開催

広報専門委員会　大崎　和美（東京ガス）

10月18日から21日にかけて、新宿パークタワーで「TG-NEXPO 2016」が開催され、住宅関連企業を中心に約1万人の来場がありました。

「住まいと暮らしの未来づくり～エネルギー自由化時代をともに～」をテーマに、暮らしの付加価値サービスを中心に提案。コンセプトシアターではエネルギーの自由化を迎え、ガスと電気にこれまでの知見とICT(情報通信技術)を組み合わせた新たな暮らしをご紹介し、弊社社長広瀬道明から「4月からはじまった電力販売では、生活まわり駆けつけサービスがご好評の“ずっともプラン”がすでに約50万件ものお客さまからお選び頂き、これからも東京ガスを選んでいただけるようグループを挙げて取り組んでまいります」というメッセージをお伝えしました。

昨年から、エネルギー事業の自由化にむけ、グループのビジョンや新たな取り組みを強くアピールした展示になっていましたが、今年はエネファームをはじめとする住宅設備やエネルギーを軸としたサービスのアピール。「住まいと暮らしの未来ステージ」では安心・安全、省エネ、便利、健康・リラクゼーションの価値を提供する付加価値サービスをご紹介しました。

空間展示では、エネルギーや住宅設備を軸に、住生活ニーズのあった住まいと暮らしの付加価値サービスと、東京ガスのリソースをご紹介。展示中央のメインステージでは二つの世帯それぞれの居住者の特徴から導き出した暮らしの提案キーワードをMCが説明。戸建展示は30歳前後の共働き子育てファミリーで、コンセプトはテラスで遊ぶ家。子育てを楽しむ住まいとして3つのテラスを設け、回遊プランによって、広がり感と家事のしやすさを確保したストレス軽減、IoTで便利に暮らす、家族との時間充実をキーワードとした展示となっていました。集合展示は夫の定年で暮らしが変わるシニア夫婦、好きなペットと一緒に第二の人生を過ごすため、娘の近居を望み住み替え定年前とは違った交流により充実したいと考え、安心・安全をキーワードにした空間展示でした。また、創立30周年を迎えた都市生活研究所のコーナーでは、暮らしの価値向上につなげる調査や都市研独自の暮らしの創造をご紹介しました。

次年度のガスの自由化に向けて「住まいと暮らしの未来づくり」を進めていくために、東京ガスのエネルギーとともに暮らしを豊かにするサービスに着目して頂きたいと思います。

多くの来場客で賑わう TG-NEXPO 2016

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

TOPICS！

いろいろな話題をお届けいたします。

経済産業省「製品安全総点検月間」への協力
～本省ロビーにシステムキッチンを展示しました！～

常務理事　高木 利一

経済産業省では、昨年度より11月を「製品安全総点検月間」とし、製品を安全に使用するための周知活動が実施されています。本年は住居に関連した製品・パネル展示に係わる協力要請が、製品安全課から工業会にあり、会員を代表して会長会社である永大産業株式会社に製品展示の対応を頂きました。展示期間は11月16日から11月30日でした。1Fロビーにシステムキッチン（食洗機・ガス機器・水栓組込みタイプ）を据置き、前面には工業会が協力したキッチン・洗面・浴室ユニットの「経年劣化による不具合について定期点検のお願い」のパネルが設置されました。きっと本省の職員の皆様や来省された方々の目にふれる中で周知活動ができた事と思います。

経済産業省本省ロビーに設置された永大産業のシステムキッチン

第2回「はとバスお江戸巡り」

川柳事業推進委員会　委員長　中山　世一

川柳の表彰式も終わった数週間後の11月22日、一行は初冬の東京へ繰り出した。第2回目の、はとバスツアーによるお江戸巡りである。

きっかけは川柳表彰式の司会をしていただいている講談師神田阿久鯉さんが、昔、講談師として、はとバスのガイドをしていたことがあると聞き込んだ事務局が、我々も1回ご案内をしていただきたいなと思ったことにある。目的は、川柳事業に協賛いただいている業界の方々への御礼と、親密に意見交換をすること。

コースは阿久鯉さんや事務局が知恵を絞り、以下となった。

（工業会前）→（増上寺）→（皇居東御苑）→（笹乃雪）→（東大赤門）→（後楽園庭園）→（神田明神）→（天野屋）→（東京駅）解散

当日工業会のメンバーのほかにインテリア産業協会、住宅リフォーム推進協議会、ベターリビングの方々にもご参加いただいた。また、中山の俳句の仲間が数人賑わいを添えた。

大きなタイトルは江戸のお屋敷巡りである。順次内容や様子を説明していきたい。

①増上寺は徳川家の菩提寺であるが、徳川家は江戸では増上寺と寛永寺（上野）に墓所がある。当日火曜日は見学休みのため見られなかったが、いまは墓所の見学もできる。当工業会の直ぐ近くであるから、時には足を伸ばして見学してもいいのではなかろうか。

②皇居東御苑は今は広大な公園となっている。有名な振袖火事で天守閣が焼け落ちたあと、江戸庶民の復興を先としてついに天守閣の復興をしなかった徳川幕府もえらいものであった。ここには殿中松の廊下跡の碑もある。最近公開された多門櫓が見学できたのは収穫であった。

③笹乃雪は根岸の古い豆腐料理屋。ここで一行は昼食をとり、阿久鯉さんの一席をご披露頂いた。

笹乃雪にて阿久鯉さんの一席

④東大赤門は車窓から見学。加賀百万石の上屋敷跡の門、ちょうど銀杏の黄葉がみごとであった。

⑤後楽園は野球場ではない。水戸様の上屋敷跡の庭園の見学を行った。民よりも後で楽しむという意味らしい。紅葉が見ごろとあって平日にも関わらず大変賑わっていた。

⑥神田明神は江戸の守り神、平将門を祀る由緒ある神社である。ご存知、銭形平次と子分がらっぱちの碑がある。

⑦天野屋は神田明神のすぐそばにある甘酒屋。みんなここで甘酒を堪能して帰路に就いた。

ところで今回は特筆すべきサプライズがあった。

田中業務部長が「川柳委員会だからみんなで川柳を作ってください。賞品は用意しましたから」とバスの中で突然言い出した。これにはみんな驚いたが、さすがは川柳関係者、早速手帳を広げて句作を始めた。選者は中山が仰せつかったが、なかなかいい作品が出た。下に優秀作品をご披露しておく。

（トップ賞）	ボーナスで今年は打つぞ除夜の鐘	大福ちゃん
（阿久鯉賞）	お姫（おひい）様と呼ばるる姥のはしゃぎをり	ばあば
（柴山賞）	「徳利の別れ」聞きてトイレへ別れけり	葵の方
（中山賞）	色足袋や江戸知りつくす講談師	やっちゃば

他にもすぐれた作品があったがここに記せないのが残念！

皇居東御苑にて

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016

VOICE! 『秋野顧問弁護士から　～不祥事対応と所轄官庁報告～』

匠総合法律事務所代表社員 弁護士　秋野　卓生

住宅業界では、時として不祥事事故が起こります。不祥事事故が起こると、国交省等、所轄官庁への報告を速やかに行い、対応策の協議に入ります。この所轄官庁への報告をスマートに実施し、不祥事を起こしてしまったけれども「企業として信頼できる」対応を実践していく事が非常に大事な視点となります。私も2016年は、複数件、不祥事の行政への報告対応についての法的アドバイスをさせて頂きました。住宅業界・建設業界で、これだけ不祥事が続くと、報告をしていくに際しても、綿密な分析を要し、神経を使います。

しかし、最終的には、企業としての社会的責任をしっかりと全うする姿勢が、所轄官庁の企業対応に対する信頼につながり、その上でプレスリリース等を経た後も、誠実な顧客対応が企業への信頼を生むという事も、経験として実感できるようになりました。

建材リコールの分野でも100％のリコールを実施することは困難ですが、「国が報告を求めてこなくなったから手を緩めて良い」と考えることはコンプライアンス的に正しくなく、国が企業への信頼から特段口出ししなくなっただけの話で、誠実にリコールの推進に全力を挙げなければならないと判断すべきであろうと思います。

今後も不祥事対応の法的アドバイスを実施していく中で、不祥事対応を実施する「企業の信頼」というキーワードを大事に、適切なアドバイスをして参りたいと考えております。

VOICE! 『事務局からひとこと』

常務理事　高木　利一

第12回「台所・お風呂の川柳」にご応募いただきました皆様、誠にありがとうございました。今回は総数で165,725句の応募があり、11月2日のキッチン・バスの日に盛大な表彰式典が開催できました。
第13回も平成29年5月1日から7月15日までを募集期間と決めております。入賞目指して奮ってご応募下さい。お待ちしております。

昨今、一部の高齢者ドライバーによるいたたまれない交通事故が増えています。高齢者と言えば当工業会でも「浴室内でのヒートショックによる事故」は、入浴時の注意喚起をしてその事故を防止する事が大きな課題であり、他団体とも協調しています。これから寒い季節となります。皆様も入浴には注意して下さい。

来年は酉年です。当工業会会員の皆様には「大きく羽ばたいて飛躍の年」「企業発展の年」として戴きたいと切に望んでいます。

工業会事務局では1月4日に芝大神宮に参拝してから仕事初めとします。工業会会員の皆様と一緒になって工業会の発展に更に力を尽くしてまいります。来年もご支援の程宜しくお願い申し上げます。

芝大神宮 錦絵（江戸時代） 出展：芝大神宮ホームページ

編集後記

年2回の「K・B通信」も第12号を発行する事になりました。第2号で初めて紹介した「台所・お風呂の川柳」表彰式は7回目を迎え、当時の写真には、表彰者を含めた24名の記念写真が掲載されていました。この年の応募数は65,886句です。さて今年はといいますと、記念写真には48名が写り、応募数は当時を約100,000句上回る、165,725句になりました。キッチン・バス工業会のホームページでは、「K・B通信」のバックナンバーも見る事ができます。皆さんも是非一度、じっくりご覧になって、当時の世相や当時の“自分”を思い返してみてはいかがでしょうか。最後になりますが、来年も皆様にとりまして幸多い年になる事をお祈り申し上げます。

中島　宏文（タカラスタンダード）

第12号編集委員

発行責任者：中島　宏文（タカラスタンダード）
編集長：鈴木　優子（トクラス）
編集委員：井上 知春（ナスラック）
大崎 和美（東京ガス）
柴崎 和彦（クリナップ）
滝川 光紀（積水ホームテクノ）
田中 佐知子（三菱レイヨン・クリンスイ）
塚原 敏夫（パロマ）
土井 隆義（永大産業）
藤田 東一（LIXIL）
松本 賢治（TOTO）
高木 利一（事務局）
田中 朋子（事務局）

JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH
キッチン・バス工業会

工業会のホームページは情報の宝庫です！

キッチン・バス　検索

発行日：2016.12.26 / 発行責任者：広報専門委員会 委員長　中島　宏文

「K・B通信」に関するお問い合わせは下記Eメールへお願いします。
Eメール：kitchen.bath@nifty.com

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2016